

記入例

提出日を記入
してください。

申込日：令和〇年〇〇月〇〇日

災害救助法の住宅の応急修理申込書

新庄市長 殿

住宅の応急修理を実施されたく申し込みます。

なお、住宅の応急修理の申し込みに関して、世帯員の収入、世帯構成を市の担当者が調査・確認することに同意します。

【被害を受けた住宅の所在地】 新庄市沖の町〇〇-〇〇

【現在の住所】 新庄市沖の町〇〇-〇〇

【現在の連絡先（TEL）】 22-1111 (自宅) 携帯・勤務先・その他)

【生年月日】 明治・大正・昭和・平成 〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳)

【氏名】 新庄 太郎

1 被災日時 令和6年7月〇〇日

被災日を記入
してください。

2 災害名 令和6年7月25日からの大雨にかかる災害

3 住宅の被害の程度

○「り災証明書」に基づき、被害の程度に“○”を付けてください。

○中規模半壊以下の場合は、「資力に係る申出書」（様式第2号）も併せて提出してください。

- ・ 全壊
- ・ 大規模半壊
- 中規模半壊
- ・ 半壊
- ・ 準半壊

4 被害を受けた住宅の部位（※該当箇所に○をつけてください。）

- ・ 屋根
- 床
- ・ 基礎
- ドア
- ・ その他（具体的に記入）
- ・ サッシ
- ・ ガスの配管
- ・ 電気、電話線、テレビ線の配線
- ・ 浴室
- ・ 柱
- ・ 外壁
- ・ 窓
- ・ 上下水道の配管
- ・ 給排気設備の配管
- ・ 梁
- ・ トイレ

※ 別添「住宅の被害状況に関する申出書」で修理対象箇所を記入してください。

(添付書類)

- ・ 住宅の被害状況に関する申出書
- ・ り災証明書の写し
- ・ 施工前の被害状況が分かる写真
- ・ 資力に関する申出書 ※中規模半壊、半壊、準半壊の場合
- ・ 修理見積書
- ・ その他市町村が求める書類

受付欄

提出日を記入
してください。

記入例

住宅の被害状況に関する申出書
(住宅の応急修理に関する参考資料)

令和〇年〇〇月〇〇日

新庄市長 殿

住所 新庄市沖の町〇〇-〇〇

氏名 新庄 太郎

※ 災害救助法に基づく住宅の応急修理制度とは、自らの資力で修理を行うことができず、当面の日常生活に最低限必要な場所を確保できない方に対して、必要最小限の修理を行うものです。

1 応急修理対象箇所について

修理を希望する箇所は以下のとおりです。

※ この制度で修理できる部分は、日常生活に欠かせない居室（居間・寝室）・炊事室・便所・浴室これらをつなぐ廊下です。

修理対象箇所 居間（LDK） 玄関

2 床について 1の修理部分の各箇所の状態は以下のとおりです。

(※床の構造は、床組(床の骨組み)+床の下地板+表面の仕上材 からなっています。)

- 床組 または 下地板 が壊れている。
- 下地材が吸水により変形、床下の湿気・悪臭・汚損がある。
- 仕上材のみの不具合 → 仕上材のみの修理は制度の対象外です。

当てはまるところに
✓を入れてください。

3 壁について 1の修理部分の各箇所の状態は以下のとおりです。

- (※壁の構造は、
- ① 柱・はり+下地材+表面材(壁紙など)
 - ② 柱・はり+仕上板(プリント合板・板など)
 - ③ 柱・はり+竹組下地+塗仕上げ

からなっています。)

- 柱・はり または 下地板 が壊れている。
- 下地板・仕上板が吸水により変形しており、日常生活に支障がある。
- 下地板・仕上板が吸水により湿気・悪臭・汚損があり、日常生活に支障がある。
- 壁紙がはがれているのみ → 壁紙のみの修理は制度の対象外です。

4 屋根について 1の修理部分の各箇所の状態は以下のとおりです。

(※屋根の構造は、小屋組+屋根の下地材+表面の仕上材からなっています。)

- 屋根の下地材 が壊れている。
- 雨漏りにより、天井・内壁・床に大きな被害があり、1室
- 屋内に浸水した痕跡がみられない、浸水被害が軽微 →

2~4以外の箇所を修理する
場合、記入してください。

5 その他 1の修理部分の各箇所の状態は以下のとおりです。

自由記述欄

玄関タイルの割れ、モルタルの亀裂、巾木・見切りの損傷、玄関ドア破損交換

記入例

資力に関する申出書

新庄市長 殿

私、新庄 太郎 は、令和6年7月25日からの大雨のため、住家が（中規模半壊・半壊・準半壊）しております。

住家を修理する資力が下記の理由のとおり不足するため、応急修理を実施していただきますようお願いいたします。

記

※世帯の収入の状況、資力が不足する理由を具体的にご記入ください。

- 例
- ・貯蓄が〇〇〇〇円しかなく、収入は年金のみで生活費だけでなくなり、余裕がない。そのため、応急修理を実施できる資力はありません。
 - ・世帯収入が月額〇〇〇〇円と少なく、生活費や〇〇ローンの支払いなどで余裕がない。そのため、応急修理を実施できる資力はありません。
 - ・施設に入所している母の利用料が月〇〇〇〇円、息子の大学の学費と生活費の仕送りが月〇〇〇〇円ある。そのため、応急修理を実施できる資力はありません。
 - ・大雨被害で店舗を閉鎖し、収入が全くない状況である。そのため、応急修理を実施できる資力はありません。

令和〇年〇〇月〇〇日

提出日を記入
してください。

申出者

被害を受けた住宅の所在地

新庄市沖の町〇〇-〇〇

現住所

新庄市沖の町〇〇-〇〇

氏名

新庄 太郎

記入例

修理見積書

(全壊 大規模半壊 **中規模半壊** 半壊 準半壊)

※ 市町村が発行する「り災証明書」等に基づき、該当する被害の程度に○をつけてください。

見積金額（総工事費） 〇〇〇,〇〇〇 円 - (消費税込)

「住宅の応急修理」申込関係

見積金額(応急修理分) 〇〇〇,〇〇〇 円 - (消費税込) (※1)

見積金額(被災者負担分) 〇〇〇,〇〇〇 円 - (消費税込)

工事名称	金額 (消費税込)	うち応急修理対象分 (消費税込) (※2)	備考
① 居間(LDK)工事	〇〇〇,〇〇〇 円	〇〇〇,〇〇〇 円	
② 玄関工事	〇〇〇,〇〇〇 円	〇〇〇,〇〇〇 円	
③	円	円	
④	円	円	
⑤	円	円	
	円	円	
合計	〇〇〇,〇〇〇 円	〇〇〇,〇〇〇 円	

※1 1世帯あたりの限度額を超える場合は、限度額を記載すること
<限度額>全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊の場合： 717,000円の範囲内
準半壊の場合： 348,000円の範囲内

※2 「うち応急修理対象分」欄の金額が、限度額を超える場合、限度額を超える部分についての同欄の記載は「-」としてよい

※3 上表の内訳を添付（※修理業者指定の様式で可。）すること

新庄市長 殿

上記のとおり見積書を提出します。（※修理業者記入）

令和〇年〇〇月〇〇日 住所 新庄市沖の町△△-△△

会社名 株式会社 都市整備

電話番号 22-〇〇〇〇

代表者名 都市 整備男

上記の見積書を確認しました。（※修理申込者記入）

令和〇年〇〇月〇〇日 住所 新庄市沖の町〇〇-〇〇

氏名 新庄 太郎

(※市町村記入欄)

市町村名	受付番号	受付担当者名

記入例

修理見積書

(全壊 大規模半壊 **中規模半壊** 半壊 準半壊)

※ 市町村が発行する「り災証明書」等に基づき、該当する被害の程度に○をつけてください。

見積金額（総工事費） 〇〇〇,〇〇〇 円 - (消費税込)

「住宅の応急修理」申込関係

見積金額(応急修理分) 〇〇〇,〇〇〇 円 - (消費税込) (※1)

見積金額(被災者負担分) 〇〇〇,〇〇〇 円 - (消費税込)

工事内訳は別紙のとおり

(工事内訳は、修理業者が普段使用している様式を添付すれば良い)

- ※1 1世帯あたりの限度額を超える場合は、限度額を記載すること
<限度額>全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊の場合： 717,000円の範囲内
準半壊の場合： 348,000円の範囲内
- ※2 「うち応急修理対象分」欄の金額が、限度額を超える場合、限度額を超える部分についての同欄の記載は「-」としてよい
- ※3 上表の内訳を添付（※修理業者指定の様式で可。）すること

新庄市長 殿

上記のとおり見積書を提出します。（※修理業者記入）

令和〇年〇〇月〇〇日 住所 新庄市沖の町△△-△△
会社名 株式会社 都市整備
電話番号 22-〇〇〇〇
代表者名 都市 整備男

上記の見積書を確認しました。（※修理申込者記入）

令和〇年〇〇月〇〇日 住所 新庄市沖の町〇〇-〇〇
氏名 新庄 太郎

(※市町村記入欄)

市町村名	受付番号	受付担当者名

記入例

誓 約 書

新庄市長 殿

当社（私）は、

- 1 災害救助法に基づく被災した住宅の応急修理実施にあたり、関係法令等を遵守します。
- 2 下記の者に該当しません。
- 3 応急修理に従事する場合、下記に該当する者であることを知りながら、下請けその他の契約を締結しません。
- 4 下記に該当する者から不当な要求を受けた場合は、速やかに警察に通報します。
- 5 この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることになっても、異議は一切申し立てません。

以上のことについて、誓約します。

記

- 法人等（個人、法人又は団体という。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）である。
- 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的、又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている。
- 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは間接的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している。
- 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしている。
- 役員等が、暴力団又は暴力団員と非難されるべき関係を有している。

提出日を記入
してください。

修理業者が記入
してください。

令和〇年〇〇月〇〇日

住 所 新庄市沖の町△△-△△
会社名 株式会社 都市整備
代表者名 都市 整備男

印

記入例

※受付後は最後に綴ってください。

受付番号	
申込者	

書類が揃っているか確認し
✓を入れて下さい。

「住宅の応急修理」申込チェック

【必要書類】

○ 必要書類はそろっていますか？ ※順番どおりに綴ってください。

- 申込書（※申込書は「り災証明書」の世帯主になっていませんか？）
- り災証明書（写し）
- 修理前の被害状況が分かる写真
- 修理見積書（※後日提出も可ですが、工事決定には必要となります。）
- 資力に関する申出書
→ 借家の場合 貸主の理由記入・署名・押印がある
- 住宅の被害状況に関する申出書
- 誓約書

内容を確認し✓を
入れて下さい。

【対象者要件】

○ 「被害の状況」は準半壊以上ですか？（り災証明書を確認）

- 全壊 大規模半壊 中規模半壊
- 半壊 準半壊

○ 賃貸型応急住宅を利用する予定はありますか？

- 利用しない 申請している 申請予定

市で記入します。

【修理見積書依頼状況】

- 依頼済・・・・・・・・・・分かる範囲で記載
- 未依頼（修理業者の当てはある）
- 未依頼（修理業者を探している段階）

修理業者名： _____			
修理業者への応急修理の説明：	未	済	
（修理見積書、写真、誓約書の説明を忘れずに）			
工事完了：	済	、工事中：	頃に着工、 未定

受付担当者	
-------	--

記入例

提出日を記入
してください。

令和〇年〇〇月〇〇日

工事完了報告書

新庄市長 殿

(施工業者) **株式会社 都市整備**
称号又は名称 **都市 整備男**
代表者氏名 _____

次の被災者住宅について、別添修理見積書（写）のとおり応急修理を完了しましたので、報告します。

1 被災者住所・氏名

別添修理見積書（写）のとおり応急修理が完了したことを確認しました。

住所 **新庄市沖の町〇〇-〇〇** _____

氏名 **新庄 太郎** _____

2 対象住宅所在地

新庄市沖の町〇〇-〇〇

3 受付番号

〇〇 _____

応急修理依頼書の受付番号
を記入してください。

4 完了年月日 令和〇年〇〇月〇〇日

【添付書類】

- ・修理見積書（写）
- ・工事写真（修理前、修理中、修理後）報告書

記入例

請 求 書

令和〇年〇〇月〇〇日

新庄市長 殿

(受託者) 住 所 新庄市沖の町△△-△△
商号又は 株式会社 都市整備
名 称
代表者名 都市 整備男

印

金額	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円
					〇	〇	〇	〇	〇	〇

上記の金額を、新庄 太郎 邸応急修理業務委託料として請求します。

振込口座	金融機関名	〇〇 銀行 〇〇 本店 信用金庫 〇〇 支店 協同組合 支所		
	口座種別	普通・当座	口座番号	〇〇〇〇〇〇〇〇
	フリガナ	トシ セイビオ		
	口座名義人	都市 整備男		

記入例

請 書

印紙
貼付

- 件名：新庄 太郎 邸 応急修理業務
- 履行場所：新庄市 沖の町〇〇-〇〇
- 履行期間：令和〇年〇〇月〇〇日 から 令和〇年〇〇月〇〇日まで
- 契約金額：金、〇〇〇,〇〇〇 円也
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の相当額を含む。)
- 契約保証：免除
- 請求条件：市の検査に合格したときは、所定の手続きに従い代金の支払を請求する。
- 支払方法：完了後払
- 申込書受付番号： 令和〇年〇〇月〇〇日 第 〇〇 号

新庄市財務規則、関係書類（応急修理見積書、修理依頼書等）、協議等承諾のうえ上記のとおり引き受けます。

令和〇年〇〇月〇〇日

新庄市長 山科 朝則 殿

受注者： 住所 新庄市沖の町△△-△△

称号又は名称 株式会社 都市整備

代表者氏名 都市 整備男 印

令和〇年〇〇月〇〇日

「被災した住宅の応急修理」証拠写真代替資料

新庄市長 殿

提出日を記入
してください。

施工業者名	株式会社 都市整備
代表者	代表取締役 都市 整備男
電話	22-〇〇〇〇
メール	*****@****.co.jp

災害名	令和6年7月25日からの大雨			
自治体名	山形県新庄市			
修理事物	新庄 太郎 邸（住所：新庄市沖の町〇〇-〇〇）			
被害区分	全壊	大規模半壊	中規模半壊	準半壊
実施期間	令和〇年〇〇月〇〇日 ~ 令和〇年〇〇月〇〇日			
修理金額	〇〇〇,〇〇〇円（自己負担分 〇〇〇,〇〇〇円）			

新庄 太郎 邸の修理に際し、証拠である写真を撮り忘れたことから、施工前、施工中の証拠写真の代替として、下記のとおり「救助の必要性」「内容の妥当性」を証するため下記資料を提出し、これを証明します。

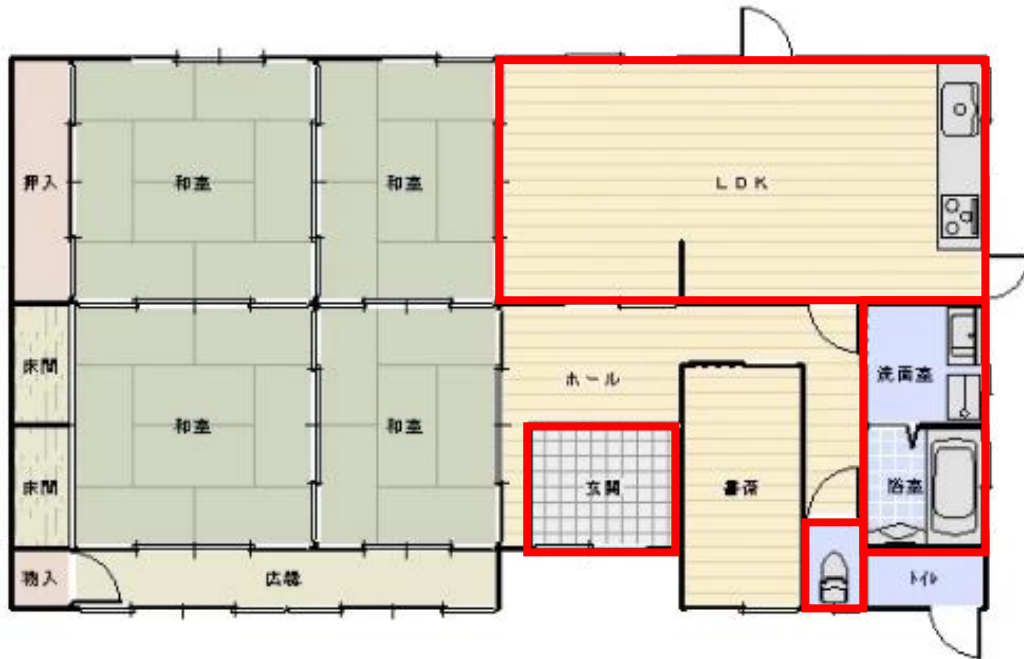
※ 施工後の写真は現時点においても撮影は可能であるため、写真が無いということは認めない。被災者の了解を取り、必ず写真撮影を行うこと。

記

【施工前の被災状況】

新庄 太郎 邸図面（1階）

※損傷箇所が判るようにすること（破損箇所は赤枠で示す）



邸図面（2階）

※損傷箇所が判るようにすること

○修理箇所（応急修理として申請する箇所）

1

LDK （16帖相当）	（破損状況説明） 床上浸水により、根太が腐食、床・壁の断熱材が吸水し脱落。フローリング下地板の腐食、床板に反り、壁板の腐食、カビの発生 交換する必要がある。	
（破損材料） ・根太：〇〇箇所が腐食 ・断熱材（床）：吸水により脱落 ・床下地材：腐食により交換 ・フローリング材：反りにより交換 ・壁板：腐食・カビにより交換 ・断熱材（壁）：吸水による脱落 ・巾木：カビの発生	（交換材料） ・根太：ヒノキ材で交換 ・断熱材（床）：グラスウールに交換 ・床下地材：木下地〇mmで敷込 ・フローリング材：ヒノキ無垢材で対応 ・壁板：ヒノキ材で補修 ・断熱材（壁）：グラスウールに交換 ・巾木：ヒノキ材に交換	

2

玄関 （収納は対象外）	（破損状況説明） 玄関タイルの割れ、モルタルの亀裂、巾木・見切りの損傷、玄関ドア破損交換	
（破損材料） 玄関タイル：破損 モルタル：亀裂 巾木・見切り：破損 玄関ドア：破損 （メーカー、品番）	（交換材料） 玄関タイルの交換 モルタル亀裂：コーキング材充填 巾木・見切り：ヒノキ材で補修 玄関ドア：同等品に交換 （メーカー、品番）	

3

(修理箇所名)	(破損状況説明)
(破損材料)	(交換材料)

4

(修理箇所名)	(破損状況説明)
(破損材料)	(交換材料)

5

(修理箇所名)	(破損状況説明)
(破損材料)	(交換材料)